

『日本の児童福祉 No.14』 定価 2400 円

- 「巻頭言」 「市場原理・競争原理で公的責任は果たせるか」 垣内国光
- 社会福祉・児童福祉の動きと研究運動の課題・竹中哲夫
- 社会福祉事業法「改正」の内容と問題点・笛木俊一
- 措置制度と児童養護施設・福島一雄
- 社会福祉事業法改正と障害児・者問題・峰島厚
- 東京都の児童福祉における権利擁護制度をめぐって・吉田恒雄
- 児童虐待と子どもの権利擁護・長谷川真人
- 入所施設の子どもの権利擁護・木全和巳
- 少年法改正の動き・山口幸男
- 子どもの福祉と少年法「改正」・平湯真人
- 大学生が考える少年法改正問題について
- 児童相談所と児童福祉審議会の関わり・田中島晃子
- 情緒障害児短期治療施設はどう動いているか・竹崎博幸
- 成東児童保健院の現状と今後の課題・星とも子
- 保育所はどう動いているか・中村強士
- 学童保育はどう動いているか・石原剛志
- 東京都の「民間社会福祉施設に対する補助金の再構築について(案)」・黒田邦夫
- エッセイ・田中島晃子
- 子ども時代が人生を決めるのか・中津利美
- 読書ノート・宮脇真紀子
- 資料・養問研の基本しせい・社会福祉基礎構造改革に基づく社会福祉事業法「改正」に反対するアピール・第2回社会福祉基礎構造改革問題を考える学習交流会アピール・社会福祉基礎構造改革・社会福祉事業法改正基本資料・障害3審議会資料